

日頃より、とやま農業スクール協議会の活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。当協議会の活動も2年目を迎えました。今年度は新たにスクール生の皆さんの自主的な活動を支援していくこととしましたので、積極的な参加をお待ちしています。

I 研修会のご案内

1 年間スケジュール（予定）

(1) 農業技術コース

土づくり、土壌診断、病害虫診断、農業機械の操作等に関する基礎的な技術講座や現地実習を実施します。

月	研修内容
6月	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ● J A 営農指導員研修【県 J A 中央会、全農とやま】 穂肥診断・病害虫診断 ※スクール生の参加も可 ● 富山米推進大会【県米作改良対策本部ほか】 水稻の栽培管理技術
8月	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業研究所ほ場参観デー【農業研究所】 水稻栽培の新技術等の紹介
9月	<ul style="list-style-type: none"> ● 土づくり推進大会【県土づくり推進協議会】
10月	<ul style="list-style-type: none"> ● J A 営農指導員研修【県 J A 中央会、全農とやま】 土づくり・土壌診断技術 ※スクール生の参加も可
11月	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ● 適正農業規範推進大会【県環境にやさしい農業推進協議会】 GAPの導入技術等
1月	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究成果発表会【畜産研究所、家畜保健衛生所】 畜産関係の研究成果発表 ● 富山米推進大会【県米作改良対策本部ほか】 水稻の栽培管理技術
2月	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ● J A 営農指導員研修【県 J A 中央会、全農とやま】 健苗の育成と田植機の使い方 ● 研究成果発表会【食品研究所・農業研究所・園芸研究所ほか】 食品、農業関係の研究成果発表

● 「栽培関連講座」
地域リーダー育成講座
各農林振興センター

● 農業機械特別研修
● 農業機械士等養成研修
県農林水産公社

(2) 農業経営コース

パソコンを利用した農業簿記など、経営を管理するための基礎的な講座のほか、他の農業経営者から、農業への取組み方針などを聞くセミナーを開催します。

月	研修内容
7月	<ul style="list-style-type: none"> ● 富山県農業担い手現地研修会【県農業者協議会】 県内の先進農家や産直施設の視察研修 ● 農業経営法人化説明会【県担い手育成総合支援協議会】 法人化の留意点、支援策の説明等 ※県内4会場で開催
8月	
9月	

10月		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ●地域リーダー育成講座 「経営関連講座」 各農林振興センター </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> ●農業ニューリーダー育成講座 「アグリカレッジコース」 県農業技術課 </div>
11月	●アグリとやま簿記スクール「複式農業簿記スクール」 【県担い手育成総合支援協議会】 ●富山県農業経営者研修会 【県農業者協議会、県担い手育成総合支援協議会】 農業情勢に対応した経営改善手法や税制等の研修会	
12月	●アグリとやま簿記スクール「パソコン農業簿記スクール」 【県担い手育成総合支援協議会】 ※県内3会場で開催	
1月		
2月	●アグリとやま簿記スクール「フォローアップ研修」 【県担い手育成総合支援協議会】 ※県内3会場で開催	
3月		

(3) 農業政策コース

近年の農業情勢や農政全般をテーマとした講演会の開催や、商工会等の他産業の若手就業者との交流を図ります。

	研修内容
7月	●とやまアグリユースフェスティバル【富山県、県農林水産公社ほか】 先進地視察、青年農業者の取組発表
8月	●富山農業スクール協議会 主催研修①
10月	●富山農業スクール協議会 現地視察
12月	●商工会青年部との合同研修【県商工会、とやま農業スクール協議会】 農商工連携等をテーマとした合同研修
1月	●富山県農業者新春交歓会【県農業者協議会ほか】 農業を巡る情勢、先進事例の報告等 ●水田農業担い手等研修会【県担い手育成総合支援協議会ほか】 農業を巡る情勢等の報告 ●富山農業スクール協議会 主催研修②
2月	●富山県青年農業者会議【県青年農業者協議会ほか】 青年農業者の取組・成果発表、講演会等

2 県段階における研修

富山県農林水産部 農業技術課

農業ニューリーダー育成講座

若手農業者等次代のリーダーの経営管理能力の養成等を目的として実施している農業ニューリーダー養成講座については、本年は、以下の2コースを10月下旬から2月まで実施します。

●主な研修内容

1 アグリカレッジコース

新規就農者向け、法人従業員向け、経営者及び組織リーダー向けの3つの細コースを設け、経営理念、栽培管理及びマーケティング等について学びます。

2 ビジネススクールコース

農業後継者や認定農業者等の担い手を対象としたコースで、財務諸表等に基づいた経営分析、経営改善計画の作成等を行います。

●募集時期、申込方法等

7月下旬に公募を開始しますので、下記の連絡先又は農業技術課のHPをご覧ください。

●連絡先 富山県庁農業技術課 研究・普及振興班

住所：富山市新総曲輪1-7 TEL:076-444-3277 FAX:076-444-4409

URL：http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1612/index.html

農業機械に関する知識、技能研修

農業機械研修センターでは、高性能農業機械・施設の利用効率を高めるとともに、農作業事故を防止して円滑な機械化の促進に資するため、農業者に対して機械利用に関する知識、技能習得の研修を実施しています。

●主な研修内容

1 農業機械士養成研修

(1) 前期課程

農業機械を安全に使用するための基本操作法の習得、農耕用大型特殊自動車免許及び農耕用けん引自動車免許を取得するための技能講習

(2) 後期課程

農業機械の構造・機能及び利用方法について知識・技能の講習

2 農業機械初心者研修

トラクタ等基本操作研修・・・トラクタ基本操作の習得（農耕用大型特殊自動車免許の取得）

3 オペレータ等再研修

(1) 集落営農組織オペレータ研修

集落営農組織等のオペレータ等に対し、効率的で安全な作業技能の習得

(2) 農業機械点検整備研修

主要農業機械の基本的な点検整備技能の習得

→研修の具体的な内容、募集人員、研修期間等については、県農林水産公社のHPをご覧ください。

URL: <http://www.taff.or.jp/nou/yousei/index.html>

●連絡先

(社) 富山県農林水産公社 農業機械研修センター

住所：富山市婦中町東本郷 101

TEL:076-465-4424 FAX:076-465-5481

3 地域段階における研修

県段階の研修の他、各地域の農林振興センターにおいても、様々な研修が用意されています。

新川農林振興センター

新川地区の方限定！

地域リーダー育成講座「栽培管理（水稻）」

青年農業者、新規就農者や農業法人の従業員の方向けに、基礎的な「栽培技術(水稻)」について学ぶ講座を開設します。

●講座内容（講座の内容・日時は変更となる場合があります）

回数	講座内容	開催時期
第1・2回	◆開講式 ◆穂肥時期の生育と栽培管理【講義】 ◆実践！稲の生育診断【実習】	7月14日(木) 13:30～17:30
第3・4回	◆作物の研究は今！！【講義】 ◆トラクタ等農業機械の点検・整備のポイント【講義・実習】	11月10日(木) 9:30～17:00
第5・6回	◆稲の一生～水稻の生理・生態～【講義】 ◆測ってみよう田んぼの土？ 【講義・実習】 ◆見てみよう！～米の品質～ 【講義・実習】 ◆閉講式	11月17日(木) 13:30～17:30

●募集時期、申込方法等

募集要領が必要な方及び募集時期や申込方法等の詳しい情報は、下記連絡先に問合せ下さい。

【連絡先】

新川農林振興センター 担い手支援課 経営支援班（担当：植木）

住所：黒部市荻生 3200 TEL:0765-52-0268 FAX:0765-52-3115

富山農林振興センター

営農に役立つ講座「稲作研修会」

稲作に関する基礎知識の習得を目的とした研修会を開催します。

幼穂形成期の生育に関する講義の後、農業研究所のほ場内で、稲の生育診断と病害虫調査についての実技を行います。これからの水稻栽培管理の参考にして下さい。

●日時 平成 23 年 7 月 14 日（木） 13:30～15:30

●場所 農業研修会館（富山県農林水産総合技術センター（富山市吉岡 1124-1）内）

●当日の内容

時間	内 容
13:30	◆開会 13:15 より受付
13:35	◆講義 「幼穂形成期から出穂期にかけての水稻の生長について」 「当面の水稻栽培管理と注意点について」
14:30	◆現地研修（農業研究所内のほ場）「生育診断（幼穂・葉色調査）」「害虫のスイーピング調査」
15:30	◆閉会（農業研修会館）

●募集時期 7月7日（木）まで

地域リーダー育成講座「経営複合化コース」

●講座内容（講座の内容・日時は変更となる場合があります）

回数	講座内容	開催時期
第 1 回	◆開講式 ◆経営複合化の必要性（主穀作経営体の現状と課題、経営複合化の利点）	7月12日（火） 19:00～21:00
第 2 回	◆現地視察研修 （機械化体系によるにんじん栽培、営農組合でのもも栽培）	7月20日（水） 13:30～16:30
第 3 回	◆農産物流通の実態 （野菜・花きの契約販売等今後の流通販売、今後の展開）	8月23日（火） 19:00～21:00
第 4 回	◆現地視察研修（ハウス白ねぎの栽培、冬季の切り花出荷）	10月下旬
第 5 回	◆集合研修	未定
第 6 回	◆管内で有望な導入品目事例（おすすめ品目の生産・経営のコツ） ◆複合化についての意見交換 ◆閉講式	12月中旬

●その他 受講資格や申込方法等の詳しい情報については、富山農林振興センターのHP又は下記の連絡先に問合せ下さい。URL: <http://www.pref.toyama.jp/branches/1631/hukyu/1673.html>

【連絡先】 富山農林振興センター 担い手支援課 経営支援班（担当：田村、村上）

住所：富山市諏訪川原 1-3-22 TEL:076-444-4521 FAX: 076-444-4516

高岡農林振興センター

地域リーダー育成講座「栽培技術（水稻）コース」

今後、地域のリーダーとして飛躍されることが期待される農業者に対して、水稻の基礎的な栽培技術に関する講座を開設します。

●講座内容（講座の内容・日時は変更となる場合があります）

回数	講座内容	開催時期
第 1 回	◆開講式 ◆出穂前後の施肥・水管理、肥料の基礎知識	7月6日（水）19:00～21:00
第 2 回	◆病害虫診断と防除、病害虫の基礎知識	7月20日（水）19:00～21:00
第 3 回	◆コンバインの事前事後点検と作業時の注意点【現地実習】	7月30日（土）13:30～16:30
第 4 回	◆トラクタの事前点検と作業機セッティング【現地実習】	10月1日（土）13:30～16:30
第 5 回	◆除草剤の効率的使用方法 ◆農業生産工程管理	11月2日（水）19:00～21:00
第 6 回	◆23年産の水稻生育経過と次年度に向けた対策 ◆修了式	11月30日（水）19:00～21:00

●募集時期 6月27日（月）まで

●その他 受講資格や申込方法等の詳しい情報については、高岡農林振興センターのHP又は下記の連絡先に問合せ下さい。URL: <http://www.pref.toyama.jp/branches/1632/>

【連絡先】 高岡農林振興センター 担い手支援課 経営支援班（担当：池田、浅井）

住所：高岡市赤祖父 211 TEL:0766-26-8474 FAX: 0766-26-8475

地域リーダー育成講座「経営複合化コース」

個別経営体の後継者や営農組織の次のリーダーなどに対して、「経営複合化」に関する講座を開設します。

●講座内容（講座の内容・日時は変更となる場合があります）

回数	講座内容	開催時期
第1回	◆大麦跡野菜生産技術研修会 ◆とやまのカン(寒)カン(甘)野菜プロジェクト	7月7日(木) 19:00~21:00
第2回	◆大麦跡野菜流通販売研修会 ◆県産野菜を使ったサラダの取組み	7月21日(木) 19:00~21:00
第3回	◆主穀作経営における切花栽培 ◆切花の契約取引の取組事例紹介【現地視察】	8月4日(木) 13:30~16:00
第4回	◆サブソイラー等排水対策実演会【現地視察】	9月1日(木) 13:30~16:00
第5回	◆主穀作経営体における園芸による複合化	11月10日(木) 19:00~21:00
第6回	◆管内優良事例紹介及び意見交換会	11月24日(木) 19:00~21:00

※開催場所は、砺波農林振興センター（砺波総合庁舎）、現地視察の場合は、砺波農林振興センターからマイクロバスでご案内します。

●募集時期

6月20日（月）まで

●申込方法等

申込方法等の詳しい情報については、砺波農林振興センターのHP又は下記の連絡先に問合せ下さい。URL:<http://www.pref.toyama.jp/branches/1633/>

【連絡先】 砺波農林振興センター 担い手支援課 経営支援班（担当：松本、伊藤）
住所：砺波市幸町1-7（砺波総合庁舎）TEL:0763-32-8111 FAX:0763-32-8139

各農林振興センター管内以外の農業者の方

ご注意ください！

各農林振興センターで行われる講座への参加については、それぞれの農林振興センター管内の農業者を優先させていたいただきますが、それ以外の地域にお住まいの方についても、定員によっては参加できる場合もありますので、参加希望がある場合はとやま農業スクール事務局まで問い合わせ下さい。

注目！

II スクール生への活動支援のご案内

本年度より、スクール生の皆様の自己啓発活動を支援するため、2つの助成事業を用意しました。多くのスクール生の応募をお待ちしています。

1 各事業の内容

(1) 研修講座受講支援事業

①県内外で実施される研修等への参加に対する支援

スクール生が、農業技術の向上や農業経営の多角化、農業経営に必要な資格取得のための研修・講習会等に参加した場合、必要となる経費(受講料、交通費等)に対して支援します。

②スクール生自らが企画する研修会等に対する支援

スクール生自らが企画実施する研修会や視察等に必要となる経費(講師謝金、交通費等)に対して支援します。

(2) イベント参加支援事業

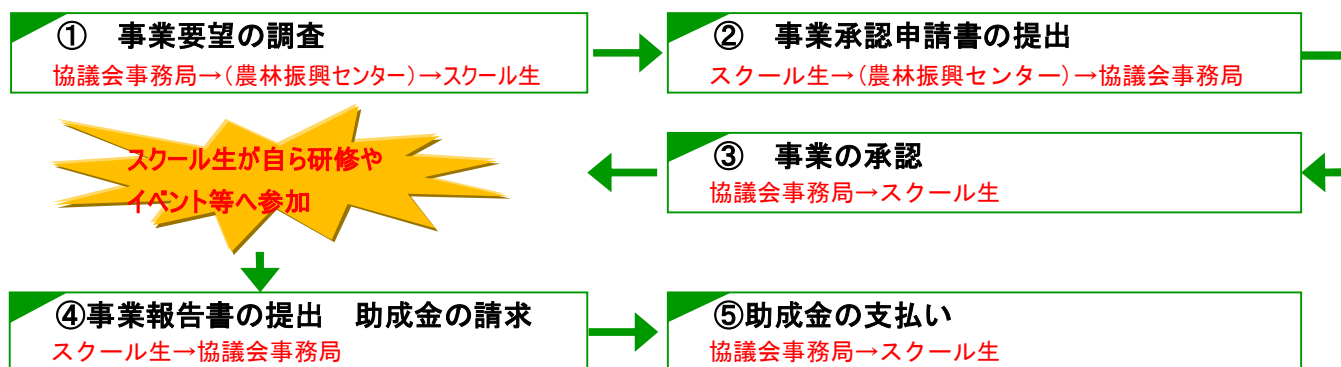
スクール生が、消費者とのコミュニケーションや消費者ニーズの把握ができる県内外のイベントに参加し、自ら生産する農産物等をPRする活動について、必要となる経費（出展料等）に対して支援します。

2 助成金額

助成対象経費の90%か5万円とのいずれか低い額

※ただし、複数名で事業に取り組む場合等は、助成金額を調整します。

3 事業の要望から助成の流れ（イメージ）



各支援事業の具体的な内容や要件については、とやま農業スクール協議会事務局まで問い合わせください。
申請様式などは、とやま農業スクールのHP (http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1611/kj00009427.htm) の関連ファイルからダウンロードして下さい。

今月号のコラム

「青年農業士」認定制度とは

富山県では、農業を支える人材を育成するため、県内で農業に従事する青年農業者を「青年農業士」として知事が認定し、免許・資格取得や先進技術体系の導入に対する支援等を行っています。

認定の要件は、おおむね18～35歳で、将来、地域農業の推進者になると見込まれる者、青年農業者を構成員として活動する組織（青年農業者組織）に積極的に参加し、中心的な活動ができると見込まれる者などとなっています。

本誌「イベント紹介」にある「とやまアグリユースフェスティバル」をはじめとした、青年農業者組織の活動に参加することは、自己研鑽になるとともに、地域での新たな仲間づくりにつながると考えております。

青年農業者のみなさんには、ぜひ青年農業士の認定を受けていただき、積極的に青年農業者組織の活動に参加し、農業者間のネットワークを広げていただけたらと考えています。

青年農業者組織の活動に興味を持たれた方は、お近くの農林振興センターまでお問い合わせ下さい。

III 農政紹介

戸別所得補償制度について

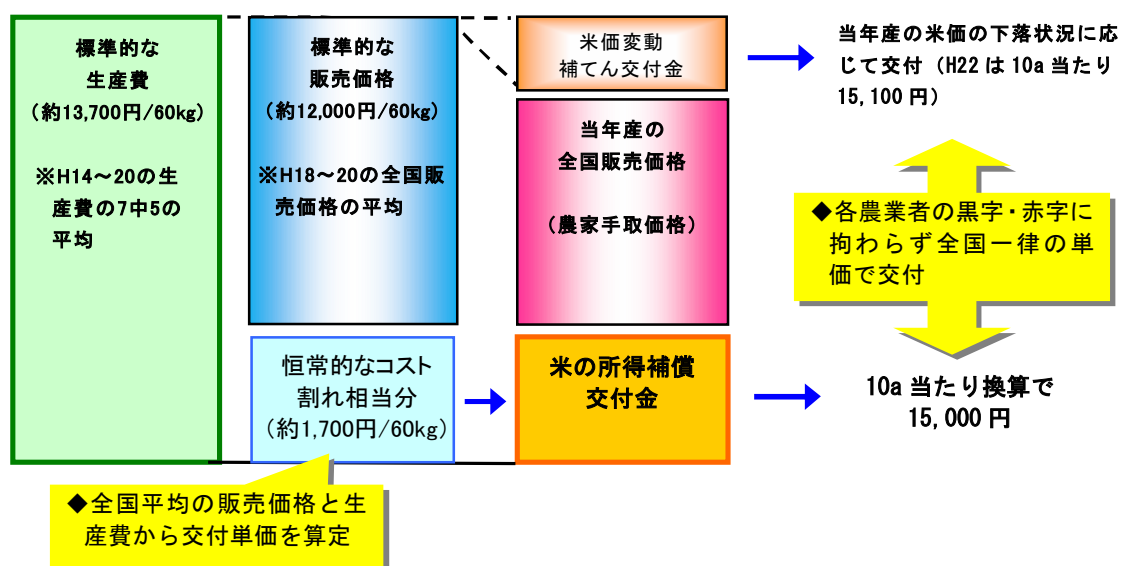
～その1 「戸別所得補償制度」って何？～

本年度より「戸別所得補償制度」が本格的に始まりました。

この制度は簡単に言えば「米や大豆、大麦の作付面積や生産量に応じて、国から農業者に対して一定額のお金が交付される」という制度です。

国から交付されるお金を「交付金」と言いますが、その単価は、下図のとおり、全国の「標準的な販売価格」と全国の「標準的な生産費」から計算した金額が用いられています。

図 米の所得補償のイメージ



戸別所得補償制度の目的

販売価格が生産に要する経費を恒常的に下回っている作物を対象として、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るとともに、食料自給率の向上と農業の多面的機能の維持を目指すもの

図のように、交付金の単価は、地域や生産条件の違いに拘わらず全国一律であることから、コスト低減の努力をした農業者や、販売価格を高める取り組みを行っている地域ほど、所得が増える仕組みとなっています。

スクール生の皆さんも、こういった制度の仕組みを理解した上で、所属している経営の改善に向けた取組を進めていただきたいと思います。

次号では、戸別所得補償制度とこれまでの制度との違いについて解説します。

IV イベント紹介

来たる7月7日(木)～8日(金)の2日間、高岡市自然休養村アップレハウスで「第51回とやまアグリユースフェスティバル」(主催:富山県、富山県農林水産公社、富山県青年農業者協議会)が開催されます。

【目的】

次代の本県農業を担う農業青年等が一堂に会し、日頃の生産活動等を通じて習得された知識や技術の意見交換を行い、仲間との友情を深めることで、農業者としての自信と誇りを身につけることです。

【内容】

産地等の見学や意見発表大会、情報交換会等、盛りだくさんの内容のなか、特に、7つの地区組織の代表者が、仕事や仲間との交流を通じて日頃から感じていることを発表する意見発表大会は、是非聞いていただきたいと思います。夜には、日頃の活動地域や年代の垣根を越えた交流をしていただける情報交換会もあります。

～スクール生のみなさんも是非参加してみませんか!～

<昨年度のアグリユースフェスティバルの様子>



産地見学の様子



分科会の様子

事前申込必要!

【7/7(木)のスケジュール】

- 9:30 - 12:00 産地等見学(2ヶ所)
- 13:00 - 14:20 開会式、意見発表会
- 14:20 - 16:40 分科会
- 16:40 - 17:00 表彰、閉会式
- 18:00 - 20:00 情報交換会

【申込方法】

とやま農業スクール協議会事務局まで、電話、FAX、Eメール等で申込み下さい。

【申込締切】

6月28日(火)

【参加費】

情報交換会 4,000円 宿泊費 3,000円

【会場までのアクセス図】



とやま農業スクール研修情報誌「アグリート」 2011.6月号

【発行】とやま農業スクール協議会事務局(担当:伴、中村、中川)

【住所】富山市新総曲輪1番7号 富山県農林水産部農業経営課内

TEL: 076-444-9623 FAX: 076-444-4408

E-mail: agrischool@esp.pref.toyama.lg.jp

「アグリート」の由来

若手農業者の皆様にも、地域農業をリードする豊富な運動量でたくましい農業者になっていただきたいと考え、agriculture(農業)とathlete(運動選手)を組み合わせ命名しました。